



一般質問とは、議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。

町政 一般質問 を問う！



3月定例会では、8人の議員が16項目にわたり一般質問を行いました。

※1議員最大3項目まで掲載、質問と答弁は要約し掲載しています。

一般質問の全文はホームページでご覧いただけます。（3月定例会の内容は6月末に掲載予定です）



鈴木孝寿 議員 9ページ

- 1 町内会組織の在り方について
- 2 まちづくり基本条例の精神に反しない町名変更の議論について
- 3 本町の農畜産品等を用いての国際的なPRの今後の展開について



中河つる子 議員 10ページ

- 1 高齢者福祉の充実への取り組みについて



田村幸紀 議員 11ページ

- 1 令和8年度執行方針における「施策の優先順位」と「町民幸福度」の整合性
- 2 まちづくり基本条例の理念に基づく「自治のありたい手法」と組織の健全性



佐藤幸一 議員 12ページ

- 1 町名変更に伴う町の財政負担の町民理解について
- 2 清水高等学校の間口維持について



山本奈央 議員 13ページ

- 1 太陽光発電施設の適正な立地および管理に関する条例整備について
- 2 町名変更に関する住民投票条例案について
- 3 町名変更に関する18歳未満の参加機会の保障について



只野敏彦 議員 14ページ

- 1 町名変更に関する町民説明会について
- 2 上下水道管の破損・破裂について



橋本晃明 議員 15ページ

- 1 清水公園の整備について



川上均 議員 16ページ

- 1 持続可能な共生型地域交通体系と公共交通の今後を問う
- 2 訪問介護サービスを中心とした持続可能な在宅介護体制を問う



今月号から議員のイラストが変わりました！

各議員のページにある「QRコード」を読み込むと、それぞれ一般質問のやり取り（YouTube映像）をご覧いただけます。

町内会活動を活性化させる方策は



鈴木 孝寿 議員

町長 町内会の負担軽減と維持に向けた支援体制を強化する

問 昨年3月の一般会活動の現状や会費の負担、町内会の将来像について取り上げた。来年度予算では、町内会の負担軽減に向けた組織体系の見直しを進める方針と伺っている。今後の町内会活動をどのように活性化していくのか伺う。

役員不足などの問題にも取り組む方針。地域に不可欠な町内会活動を維持するため、地域性を尊重しつつ支援体制を強化していく。

町長

町内会では会員減少や

未加入世帯の増加で活動が停滞しており、負担金の重さも課題となっている。町は令和8年度から負担金の一部を公費で支援し、町内会と協力して

問

まちづくり基本条例のもと進め

られる町名変更の議論では、町の評判を下げる発言や政治的対立を煽る言動が見られ、建設的な議論が妨げられているとの

町名変更の建設的な議論を促すには

町長

町名変更は重要課題であり、情報提供を通じ判断する環境を整える

町長

町名変更は町の将来に

関わる重要な課題であり、町民に理解のうえ判断いただきたいと考える。これまで説明会で町の考えやメリット・デメリット、不安への対応を示してきたが、不十分な点もあったと認識している。今後は住民投票に向け、より分かりやすい情報提供に努め、安心して判断できる環境づくりに取り組む。

本町の農畜産品等PRの今後の展開は

町長 国際的発信により、生産者の意欲向上、地域間交流、輸出拡大を期待している

問

本町では、ローマ教皇庁や各国大使館での農産品・文化のPRを行い、「第九の町」としての国際交流、十勝若牛の更なるブランド化に向けた取組などを進めてきた。こうした積極的な活動に町民の関心も高まっており、今後の展開や方向性について町長の考えを問う。

町長

J Aと連携してローマ

教皇庁やダライ・ラマ法王日本代表部、大阪府へ町産の豆類や牛肉をPRしているほか、ルーマニア大使館への黒にんにく提供を通じたドラキュラ伯爵への献上や、第九合唱の縁を活かしたドイ



ルーマニア大使館にんにくを献上

鈴木議員の一般質問全編

